

I 日米共同医療搬送訓練の参加機関

- ① ヘリによる搬送訓練は、首都直下地震の被災現場から災害拠点病院へ搬送する地域医療搬送の一環との想定で、羽田空港を被災現場とみなし、東京DMATによる救護を経て、病院としての機能を有するマーシーへ搬送するという想定でよいか
- ② 日本側の実動参加機関は東京DMAT、東京消防庁、自衛隊とし、災害医療関係者は訓練を見学する位置づけでよいか

II 日米共同災害医療搬送訓練の内容

- ① ヘリで搬送する外傷患者の症例については首都直下地震の広域医療搬送の対象患者である4分類のうち、いずれが適当か
【4分類】
 - ・ 集中治療管理が必要な病態、手術など侵襲的な処置が必要な内因性病態
 - ・ 頭、胸、腹部等に中等度以上の外傷がある患者
 - ・ 身体の一部が家屋に挟まれた等の既往がある患者(クラッシュ症候群)
 - ・ 全身に中等度以上の熱傷がある患者
- ② マーシー搭載の小型作業艇で搬送する軽症患者の症例については、米側の実運用上に合わせた形に調整することとしてよいか
- ③ それぞれの患者役をどうするか(人形か人か)、誰が手配するか

III セミナーの内容

- ① 船内オペレーションのデモは、外傷患者は手術後ICUまで、NBC患者は除染までを実施することでよいか
- ② 船内オペレーションのデモにおいて、特に医療関係者の視点からの関心事項として、米側に要望しておくことは何か
- ③ NBC患者の中から選ぶ一症例として適切なものがあるか、米側に最も典型的なもので依頼することでよいか
- ④ 参加者が一様に行動するのではなく、テーマごとの班を作り、それぞれのテーマに沿った対象を見学し、議論することが適当と考えるがどうか
- ⑤ セミナー(ディスカッション)のテーマ設定(議論の焦点)はどのような内容がふさわしいか
- ⑥ ディスカッションでマーシーから得たい知見、情報は何か

IV シンポジウムの内容

- ① 米側の医療関係者(1名)が基調講演を行うが、期待するテーマ、内容は何か
- ② 3テーマの各班長による発表のあとに米側にコメントを求めることとしているが、米側に期待する視点、内容は何か